

三浦半島南西部沿岸の魚類-Ⅳ

工藤孝浩・山田和彦

Takahiro Kudo and Kazuhiko Yamada:

Fish fauna in the coast of southwest area of the Miura Peninsula - IV

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類相を明らかにすることを目的として、1988年から城ヶ島を中心とした三浦半島南西部沿岸の水深10m以浅で主にスノーケリングによる魚類の目視観察調査を続けている。前報までに363種を報告したが(岡部・工藤, 1993), その後新たに発見されて標本を収集することができた39種を追加報告する。また、従来1種とされていたものが2種に分類されたもの1例と、前々回の報告(工藤ほか, 1992)で誤同定があったもの並びに未記載種として報告後に新種記載がなされたものがそれぞれ1種あったので、あわせて報告する。

調査方法

本報告では、これまでの採集地に加えて三浦市劔崎沖を加えた(図1)。調査方法はスノーケリングと陸上からの目視観察・採集を主とし、原則として水深10m以浅に出現した魚類を調査対象とした。調査は不定期に実施したため、調査頻度は年によりまた月により一定していない。また補足的に、釣獲調査と漁業者が操業する刺網の漁獲物の調査を行った。標本は生鮮時にカラー写真撮影後、横須賀市自然博物館魚類資料(YCM-P)ならびに神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料(KPM-NI)として登録保管した。魚種名、分類学的配列および全般的な分布記録などは、中坊編(1993)、特に幼期については沖山編(1988)に従った。

調査結果

目録で使用した種の番号(364～)

は、前報(岡部・工藤, 1993)で記録した最後の番号に追録した。本報告の標本に関する記述は、標本番号、丸括弧内に標本長(SL:標準体長,またはTL:全長(タツノオトシゴ属の乾燥標本についてはHL:頭長))(複数個体の場合は個体数および標本長範囲)、採集年月日、採集地、採集方法、採集者の順に記した。

364. ダイナンウミヘビ *Ophisurus macrorhynchus*

YCM-P35285 (818.0mmTL), Feb.8,1995, 三崎漁港内, アナゴ筒, 採集者:工藤(図2-1)

本種は三崎周辺定置網(山田, 1990)や横須賀市

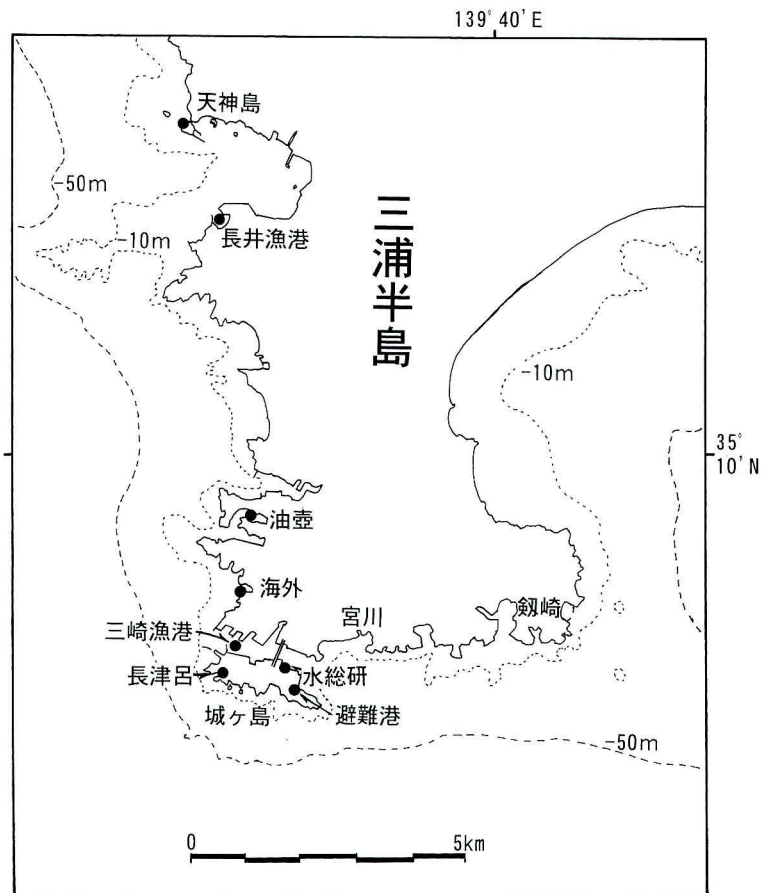


図1. 調査地点.

天神島（林・伊藤, 1974）から記録されている。三浦半島周辺では稀でないが、夜行性のため発見の機会が少ないと思われる。

365. ニシキウミヘビ *Ophichthus tsuchidae*

YCM-P35283 (385.0mmTL), Oct.21,1995, 長井漁港内, 釣り, 採集者: 工藤 (図 2-2)

標本個体は、背鰭起部が胸鰭先端上にあり、体に斑紋がなく尾端に向かって次第に細くなることなどから本種と同定された。三崎産の標本にもとづき記載されたが (Jordan & Snyder, 1901) 三浦半島周辺では稀で、近年では藤沢定置網の記録のみ (山田・工藤, 1998)。

366. ハナアナゴ *Ariosoma anagoides*

YCM-P35270 (472.0mmTL), July 27,1995, 城ヶ島水産総合研究所岸壁, 手網, 採集者: 工藤

標本個体の吻端はとがり、目の位置とそのやや後方に不明瞭な褐色横帯があり、後頭部中央に間隔孔があることなどから本種と同定された。三崎漁港内では砂泥底に穿孔している個体が潜水によりしばしば観察されており、三崎周辺定置網 (山田, 1990) や横須賀市天神島 (林・伊藤, 1974) から記録されている。

367. ギンアナゴ *Gnathophis nystromi nystromi*

YCM-P35293 (382.0mmTL), July 28,1994, 宮川沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図 2-3)

本種は三崎周辺定置網 (山田, 1990) や西湘定置網 (林・西山, 1980) から記録がある。標本個体の下顎は短く、垂直鰭に黒色縁辺があり、胸鰭付近の側線孔は側線管の上方に位置することなどから本種と同定された。

368. ヤセエビス *Pristilepis oligolepis*

YCM-P31833 (156.2mmSL), Apr.10,2000, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田 (図 2-4)

本種は相模湾以南に分布する。標本個体の鼻間骨間の溝はひし形で、涙骨には上顎骨にかぶさる突起があり、上顎縫合部の内面には 1 小歯板があることなどから本種と同定された。城ヶ島沖の刺網では、1994 年 11 月と 1996 年 4 月にも漁獲されていた。

369. テングヨウジ *Microphis brachyurus brachyurus*

YCM-P31850 (76.8mmSL), July 25,1999, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田

本種は相模湾以南の河川汽水域から淡水域に分布する。相模湾とその流入河川では横須賀市天神島 (林, 1995), 境川 (樋口ほか, 1992), 相模川 (工藤, 1983), 酒匂川, 山王川, 早川 (林ほか, 1983) から記録がある。標本個体は磯に漂着した流れ藻から、ハナオコゼ *Histrio histrio* など流れ藻特有な魚類多数とともに採集された。

370. イバラタツ *Hippocampus histrix*

KPM-NI0007316 (21.4mmHL), 1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 星野惣助; KPM-NI0007344 (13.4mmHL), Nov.24,1997, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 星野惣助 (図 2-5)

本種は伊豆半島、和歌山県の沿岸岩礁域に分布するとされ、相模湾では熱海から記録がある (瀬能ほか, 1998)。標本はいずれも水深 20 ~ 30m から漁獲され、漁業者によって乾燥状態で保管された。躯体輪数は 11 で、体輪の棘は鋭く長いことから本種と同定された。

371. ハナタツ *H. sindonis*

KPM-NI0007314 (17.8mmHL), Sep.1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 星野惣助; KPM-NI0007315 (15.4mmHL), Sep.1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 星野惣助; KPM-NI0007345 (13.9mmHL), Nov.24,1997, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 星野惣助

本種はこれまでタツノオトシゴ *H. coronatus* の種内変異とされていたが、瀬能 (2000) により独立種とされた。相模湾各地のダイビングポイントでみられる本属魚類の多くは本種である。標本はイバラタツとともに漁業者によって乾燥保管されたものの。

372. ハチ *Apistus carinatus*

YCM-P35291 (116.8mmSL), Aug.25,1994, 宮川沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図 2-6)

本種は横浜沖 (岩田ほか, 1979), 三崎周辺定置網 (山田, 1990), 西湘定置網 (林・西山, 1980) などから記録がある。三崎漁港内では夏季の夜間潜水でみられることがある。

373. サンゴカサゴ *Scorpaenodes scaber*

KPM-NI0007346 (12.6mmSL), Sep.16,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田

本種は琉球列島に分布するとされ、相模湾から初記録となる。標本個体は低潮線直下のタイドプールから採集され、頬部には 3 棘があり、縦列鱗数は 37 であることなどから本種と同定された。

374. クロソイ *Sebastes schlegeli*

YCM-P31836 (59.2mmSL), Sep.23,1996, 城ヶ島避難港, スノーケリング, 採集者: 工藤 (図 2-7)

本種は横浜港 (工藤ほか, 1986), 三崎周辺定置網 (山田・工藤, 1998) から記録がある。標本個体の眼隔域はくぼまず平坦で、涙骨に顕著な 3 棘があることから本種と同定された。

375. ニシキハナダイ *Plectranthias sagamiensis*

YCM-P31837 (51.4mmSL), July 8,1999, 劔崎沖水深 50m, 釣り, 採集者: 工藤 (図 2-8)

本種は相模湾の水深 50 ~ 90m の海底からかなりの数が採集・記録されているが (瀬能, 1991), それらは伊豆半島側からのもので、三浦半島からは

初記録と思われる。

376. ヒメコトヒキ *Terapon theraps*

YCM-P35300 (40.5mmSL), Sep.16,1994, 城ヶ島水産総合研究所地先, スノーケリング, 採集者: 工藤(図2-9); YCM-P31839 (2個体, 26.4-58.4mmSL), July25,1999, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田

1994年の標本個体は、水深5mに設置されたブイの水面直下から、1999年のものは漂着した流れ藻から前述したテングヨウジなどとともに採集された。相模湾では浮魚礁から記録があり(工藤, 1998), 1999年9月には三崎周辺定置網から水揚げされた(山田・工藤, 2000)。1999年夏秋季は黒潮が相模湾へ異常接近する特異な海況で、後述するイシガキスズメダイ、ニシキブダイなど様々な南方系魚類が採集された。

377. コミナトテンジクダイ *Apogon coccineus*

YCM-P31852 (13.4mmSL), Oct.11,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田(図2-10)

本種は隠遁的な習性のため発見されにくいだが、標本個体は水深2.5mの岩穴の中から採集された。調査海域には近縁のオグロテンジクダイ *A.fuscus* が分布する可能性があるが(林 公義氏私信), 尾柄部と尾鰭下葉は黒くないことから本種と同定された。

378. ヨコスジイシモチ *A. cathetogramma*

YCM-P31856 (8.9mmSL), Oct.4,2000, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田(図3-1)

標本個体は稚魚で、水深2.5mにある転石の間隙から採集された。第1背鰭と腹鰭に黒色素胞が出現し、クロイシモチ *A. niger* に似るが体側の黒色素胞の出現範囲が狭く前半部に偏ることから本種と同定された。三浦半島からは初記録である。

379. ツムブリ *Elagatis bipinnulata*

YCM-P31841 (3個体, 22.5-32.4mmSL), July 25,1999, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田(図3-2)

本種は相模湾沖合の浮魚礁(工藤, 1998), 三崎周辺定置網(山田, 1990)などから記録がある。沿岸で採集されることは稀だが、県内では横浜市野島海岸(工藤・中村, 1999)の記録がある。標本個体は漂着した流れ藻に随伴していたもので、前述したテングヨウジやヒメコトヒキなどとともに採集された。

380. カスミアジ *Caranx melampygus*

YCM-P31860 (119.8mmSL), Sep.23,1994, 海外防波堤, 釣り, 採集者: 岡部久(図3-3)

標本個体の胸部には無鱗域がなく、鰓蓋上部に黒斑がなく、主上顎骨後端は眼の後縁下に達しないことなどから本種と同定された。相模湾では三崎周辺定置網(山田, 1991)から記録がある。

381. ハチビキ *Erythrocles schlegelii*

YCM-P31861 (134.1mmSL), Nov.17,1999, 剣崎沖水深40m, 釣り, 採集者: 工藤(図3-4)

本種は相模湾周辺では一本釣りで漁獲されるが(山田, 1990), 形態がよく似たロウソクチビキ *Emmelichthys struhsakeri* (山田・工藤, 1996) やヒメタカサゴ *Dipterygonotus balteatus* (山田・工藤, 2000) も調査海域から記録されている。標本個体の第1, 第2背鰭は近接すること、鰓腔に2つの肉質突起があること、体側に明るい縦帯がないことなどから本種と同定された。

382. シマセトダイ *Hapalogenys kishinouyei*

YCM-P31825 (211.0mmSL), Apr.7,2000, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田(図3-5)

南日本の大陸棚砂泥域に分布するが相模湾周辺では稀で、三浦半島初記録と思われる。標本個体は、体側に4本の暗色縦帯をもつことなどから容易に同定された。

383. ナンヨウツバメウオ *Platax orbicularis*

YCM-P31838 (31.5mmSL), Sep.29,1998, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子(図3-6); YCM-P31840 (24.1mmSL), July 25,1999, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田

本種成魚は琉球列島に分布するが、幼魚は枯れ葉擬態をしながら漂流移動する。三浦半島では横須賀市天神島から記録がある(林, 1995)。

384. ウミヅキチョウウオ *Chaetodon bennetti*

YCM-P31862 (10.5mmSL), Oct.15,2000, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子(図3-7)

標本個体は船を係留する浮桟橋から採集されたトリクチス期幼生で、背鰭は13棘18軟条、胸鰭は15軟条を数えた。体側面に黒斑をもつ近縁種にトノサマダイ *C. speculum* とイッテンチョウウオ *C. unimaculatus* があるが、前者の背鰭棘数は14、胸鰭軟条数は14であり、後者の背鰭軟条数は21~23であることが標本個体と一致しない。著者らが知る範囲では本種のトリクチス期幼生の記載は見当たらないが、体側面に黒斑をもつことと計数形質を根拠として本種と同定された。

385. イシガキスズメダイ *Plectroglyphidodon dickii*

YCM-P31843 (15.2mmSL), Sep.29,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田(図3-8)

本種は和歌山県田辺湾以南の水深1~12mのサンゴ礁域に分布するとされており、相模湾初記録である。標本個体は低潮線直下の岩の裂け目から採集され、背鰭棘条部に黒斑をもち、体側後半部に鱗列約5枚分の幅の黒色横帯をもつことから本種と同定された。黒潮の接岸により偶発的に移送されたものと思われる。

386. ミギマキ *Goniistius zebra*

YCM-P31853 (189.0mmSL), Nov.8,1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図3-9)

本種は相模湾以南の浅海岩礁域に分布し, しばしば三崎魚市場に水揚げされるが (山田, 1990), 主な生息水深帯が 10m 以深であることからこれまで本調査で記録されなかった。

387. アカササノハベラ *Pseudolabrus eoethinus*

YCM-P31849 (129.3mmSL), Nov.17,1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田 (図4-1)

従来ササノハベラ *P. japonica* とされていたものは, Mabuchi & Nakabo (1997) により本種とホシササノハベラ *P. siebldi* の2種に分類された。標本個体は体側上半分に小白斑がなく, 眼の下縁を通る褐色線が鰓蓋中央部までしか達しないことから本種と同定された。本調査海域では圧倒的にホシササノハベラが優占しており, 本種は外洋に面した岩礁域の主に水深 10m 以深に分布する。

388. イトベラ *Suezichthys gracilis*

YCM-P31835 (132.0mmSL), Nov.29,1996, 釧崎沖水深 18m, 釣り, 採集者: 工藤 (図4-2)

本種は沖縄県を除く南日本に分布し, 本調査海域では岩礁, 砂礫底に比較的普通であるが, 主生息水深が 10m 以深であるためこれまで記録がなかった。

389. オニベラ *Stethojulis trilineata*

YCM-P31845 (26.8mmSL), Oct.6,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-3)

本種はトカラ列島以南の岩礁域に分布するとされ, 三浦半島初記録である。標本個体は, カミナリベラ *S. interrupta terina* の幼魚の群れに混じり水深 1~3m の転石・砂礫底を遊泳していたもので, 尾鰭基部に暗色点があり, 体側下半部に3列の暗色点列があることなどから本種と同定された。

390. ニシキブダイ *Scarus prasiognathos*

YCM-P31846 (23.3mmSL), Oct.6,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-4)

本種は琉球列島のサンゴ礁域に分布するとされているが, 串本海中公園では 1998 年に幼魚が記録されている (小寺, 1999)。標本個体の色彩は, 益田・小林 (1994) のニシキブダイ幼魚や益田ほか編 (1984) の図版 214-H (アミメブダイとされているが本種の誤り) に一致した。

391. キビレミシマ *Uranoscopus chinensis*

YCM-P35290 (147.4mmSL), June 24,1994, 宮川沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図4-5)

本種は三崎周辺定置網や小田原から記録がある (山田・工藤, 1997)。標本個体の前鰓蓋骨下縁の棘は4本で, 胸鰭は18軟条であることなどから本種

と同定された。

392. イワアナコケギンポ *Neoclinus lacunicola*

YCM-P31855 (3 個体, 50.0-53.3mmSL), Oct.4,2000, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-6)

本種は横須賀市天神島 (1995), 伊豆半島田ノ浦湾 (林ほか, 1992) から記録があり, やや波の荒い岩礁域の低潮線直下に分布する。標本個体は水深 1.5m の岩盤の穴から頭部だけを出していた。背鰭第1, 2棘間に黒点がなく, 頭頂部に皮弁がなく, 眼上皮弁は1列で6本であることなどから本種と同定された。

393. ニセクロスジギンポ *Aspidontus taeniatus*

taeniatus

YCM-P31844 (44.9mmSL), Oct.6,2000, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-7)

本種は相模湾以南のサンゴ礁, 岩礁域に分布し, 油壺 (Tomiyama & Abe, 1956), 横須賀市天神島 (林, 1995), 伊豆半島田ノ浦湾 (林ほか, 1992) などから記録がある。

394. フトスジイレズミハゼ *Priolepis latifascima*

YCM-P31851 (18.2mmSL), Oct.11,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-8)

標本個体は胸鰭基部の明色横帯が鰓蓋から合流する横帯より幅広く, 第2背鰭が1棘8軟条であることから, Winterbottom & Burridge (1993) により伊東市の伊豆海洋公園産の標本に基づき新種記載され, 明仁ほか (2000) によって新和名が与えられた本種と同定された。相模湾では原記載のほか熱海から記録があり (瀬能ほか, 1998), 南日本に広く分布している。なお, 益田ほか編 (1984) でイレズミハゼとされた図版 239-B は本種の誤りである。

395. ニクハゼ *Chaenogobius heptacanthus*

YCM-P31848 (46.2mmSL), Feb.10,1997, 油壺, 手網, 採集者: 日高芳子 (図4-9)

標本個体の口角は眼の後縁を越え, 体は側偏して第1背鰭起点での断面は長方形に近く, 縦列鱗数は78であることなどから本種と同定した。淡水が流入する内湾に普通で, 群れで中層を遊泳する。

396. クロヤハズハゼ *Bathygobius padangensis*

YCM-P31847 (41.1mmSL), Oct.10,1999, 城ヶ島長津呂, スノーケリング, 採集者: 山田 (図4-10)

本種は横須賀市天神島 (林, 1995) から記録がある。標本個体の前鼻孔には皮弁がなく, おとがいの皮蓋後側端は突出しないことなどから本種と同定された。

397. イボダイ *Psenopsis anomala*

YCM-P31842 (17.5mmSL), July 25,1999, 城ヶ島長津呂, 手網, 採集者: 山田 (図5-1)

本種は三崎周辺定置網（山田, 1990）、西湘定置網（林・西山, 1980）などから記録があり、幼魚は表層性でクラゲの下にみられる。標本個体の側線有孔鱗数は 60 であることから本種と同定された。

398. コウベダルマガレイ *Crossorhombus kobensis*

YCM-P35297 (111.4mmSL), July 6, 1994, 宮川沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図 5-2)

本種は三崎魚市場にしばしば水揚げされる（山田, 1990）。標本個体は雄で、胸鰭は長く最上部軟条の先端は糸状となり、背鰭・臀鰭の縁辺は暗色で尾鰭に暗色横帯がなく、無眼側の濃紫色斑は大きいことなどから本種と同定された。

399. ホシダルマガレイ *Bothus myriaster*

YCM-P31854 (141.0mmSL), Nov. 7, 1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田 (図 5-3)

本種は南日本に分布し、藤沢定置網から記録がある（山田・工藤, 2000）。標本個体の口は小さく、体側鱗は著しく小さく有眼側では体の周辺部のものを除いて円鱗であることなどから本種と同定された。

400. シマウシノシタ *Zebrias zebra*

YCM-P35294 (181.5mmSL), Aug. 9, 1994, 宮川沖, 刺網, 採集者: 工藤 (図 5-4)

本種は北海道南部以南の水深 100m 以浅の砂泥底に分布する。標本個体の背鰭軟条数は 75, 臀鰭軟条数は 65 であることから本種と同定された。

401. ヨリトフグ *Sphoeroides pachygaster*

YCM-P31818 (232.0mmSL), Nov. 13, 1990, 城ヶ島沖水深 10m, 釣り, 採集者: 工藤 (図 5-5)

本種は南日本に分布し、三崎周辺定置網から記録がある（山田, 1990）。標本個体の体表には小棘がなく、体側下部を走る 1 皮褶がなく、体に極微細線が密に走ることなどから本種と同定された。

402. クマサカフグ *Lagocephalus lagocephalus*

oceanicus

YCM-P31817 (277.0mmSL), Oct. 14, 1999, 城ヶ島水産総合研究所岸壁, 手網, 採集者: 工藤 (図 5-6)

本種は相模湾以南に分布し、相模灘から記録がある（Tanaka, 1916）。標本個体の尾鰭は二重湾入型で下葉先端は上葉より明瞭に長く、胸鰭上半分は黒いことから本種と同定された。外洋遊泳性であり、沿岸における記録は稀と思われる。

補 足

182. ホシササノハベラ *Pseudolabrus sieboldi*

YCM-P31863 (115.9mmSL), Nov. 17, 1999, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田 (図 5-7)

前述のとおり従来ササノハベラとされていた種

は 2 種に分けられたが、工藤・岡部 (1991) のササノハベラは本種に該当したので、改めて標本を指定し報告する。

336. ホタテウミヘビ *Pisodonophis zophistius*

YCM-P35260 (609.0mmTL), Aug. 18, 1994, 三崎漁港内, スノーケリング, 採集者: 工藤 (図 5-8)

本種は工藤ほか (1992) で、ミナミホタテウミヘビとして報告したが本種と再同定された。本調査ではこれまで標本が得られていなかったもので、標本に基づき報告する。本種は横浜市金沢区沿岸（工藤・中村, 1994）、三崎周辺定置網（山田・工藤, 1992）などで記録がある。一方、ミナミホタテウミヘビは三崎周辺定置網の記録がある（山田・工藤, 1997）。

348. ヒメサツマカサゴ *Scorpaenopsis iop*

YCM-P17068 (102.3mmTL), Oct. 2, 1991, 城ヶ島沖, 刺網, 採集者: 山田

本種は工藤ほか (1992) で、オニカサゴ属の 1 種として報告したが、その後 Nakabo *et al.* (1993) により伊豆半島の伊豆海洋公園産ほかの標本に基づき新種記載されたので改めて報告する。相模湾では原記載のほか熱海から記録されているが（瀬能ほか, 1998）、三浦半島では標本個体が唯一の記録である。

謝 辞

横須賀市自然博物館の林 公義副館長ならびに神奈川県立生命の星・地球博物館の瀬能 宏博士からは標本の登録と同定でお世話になるとともに、種々のご教示をいただいた。現地調査においては、城ヶ島漁業協同組合、みうら漁業協同組合通り矢支所の方々にご協力いただき、城ヶ島漁協所属仙松丸の星野惣助氏、(株)油壺ボートサービスの日高芳子氏、神奈川県水産課の岡部 久氏から収集標本の提供があった。また、宮内庁生物学御研究所の池田祐二氏からは貴重な情報をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 明 仁・坂本勝一・池田祐二・岩田明久, 2000. ハゼ亜目. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第 2 版, pp.1139-1310. 東海大学出版会, 東京.
- 林 公義, 1995. 天神島臨海自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置で漁獲された相模湾産魚類目録・I. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 林 公義・石原龍雄・長峯嘉之, 1983. 神奈川県淡水魚類分布資料・I-ヨウジウオ科-. 横須賀市博物館

- 報, (29): 14-17.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類 (追補). 神奈川自然誌資料, (13): 17-27.
- 樋口文夫・水尾寛己・梅田 孝, 1992. 横浜の淡水魚類相の変化と分布の特徴. 横浜の川と海の生物 (第6報), 横浜市環境保全局環境保全資料, 161, pp.93-124. 横浜市環境保全局, 横浜.
- 岩田明久・酒井敬一・細谷誠一, 1979. 横浜市沿岸域における環境変化と魚類相. 横浜市公害対策局公害資料, 82. 245pp. 横浜市公害対策局, 横浜.
- Jordan, D. S. & J. O. Snyder, 1901. A review of the apodal fishes or eels of Japan, with descriptions of nineteen new species. *Proc. U. S. Natn. Mus.*, 23(1239): 837-890.
- 小寺昌彦, 1999. 鰭浦地先でみられるアオブダイ属魚類について. マリンパビリオン, 28(2): 2.
- 工藤孝浩, 1983. 相模川水系の魚類—第2報—. 神奈川自然保全研究会報告書, (3): 32-42.
- 工藤孝浩, 1998. 相模湾のパヤオ (表層式浮魚礁) において潜水観察された魚類群集. 神奈川県水産総合研究所研究報告, (3): 1-18.
- 工藤孝浩・鴨川宗洋・伊東俊弘, 1986. 横浜市沿岸域の魚類相. 横浜の川と海の生物 (第4報), 横浜市公害対策局公害資料, 126, pp.181-225. 横浜市公害対策局, 横浜.
- 工藤孝浩・中村良成, 1994. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類. 神奈川自然誌資料, (15): 39-46.
- 工藤孝浩・中村良成, 1999. 横浜, 川崎および中の瀬海域から初記録の魚類—III. 神奈川自然誌資料, (20): 45-54.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸域の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-37.
- 工藤孝浩・岡部 久・山田和彦, 1992. 三浦半島南西部沿岸域の魚類—II. 神奈川自然誌資料, (13): 39-44.
- Mabuchi, K. & T. Nakabo, 1997. Revision of the genus *Pseudolabrus* (Labridae) from the East Asian waters. *Japan. J. Ichthyol.*, 44(4): 321-334.
- 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編, 1984. 日本産魚類大図鑑. xx + 448pp., 370pls. 東海大学出版会, 東京.
- 益田 一・小林安雅, 1994. 日本産魚類生態大図鑑. 45 + 465pp. 東海大学出版会, 東京.
- 中坊徹次編, 1993. 日本産魚類検索: 全種の同定. xxxiv + 1474pp. 東海大学出版会, 東京.
- Nakabo, T., H. Senou. & H. Masuda, 1993. *Scorpaenopsis iop*, a new species of Scorpaenidae from southern Japan. *Japan. J. Ichthyol.*, 40(1): 29-33.
- 岡部久・工藤孝浩, 1993. 三浦半島南西部沿岸域の魚類—III. 神奈川自然誌資料, (14): 43-48.
- 沖山宗雄編, 1988. 日本産稚魚図鑑. xii+1157pp. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏, 1991. ニシキハナダイ. 伊豆海洋公園通信, 2(9): 1.
- 瀬能 宏, 2000. ヨウジウオ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索: 全種の同定, 第2版, pp.520-536. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真データベース (KPM-NR) に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- Tanaka, S., 1916. Figures and descriptions of fishes of Japan X VIII, pp.399-418, pls.CXI-CXV. Kazama-shobo, Tokyo.
- Tomiya, I. & T. Abe, 1956. Figures and descriptions of fishes of Japan LII, pp.1048-1076, pls.207-212. Kazama-shobo, Tokyo.
- Winterbottom, R. & M. Burrige, 1993. Revision of the species of *Priolepis* possessing a reduced transverse pattern of cheek papillae and no predorsal scales (Teleostei; Gobiidae). *Can. J. Zool.*, 71: 494-514.
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95-102.
- 山田和彦, 1991. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類 II. 神奈川自然誌資料, (12): 21-28.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・III. 神奈川自然誌資料, (13): 45-53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1996. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・V. 神奈川自然誌資料, (17): 73-76.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VI. 神奈川自然誌資料, (18): 73-78.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1998. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・VII. 神奈川自然誌資料, (19): 5-11.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2000. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IX. 神奈川自然誌資料, (21): 25-31.

(工藤: 神奈川県水産総合研究所,
山田: 相模湾海洋生物研究会)

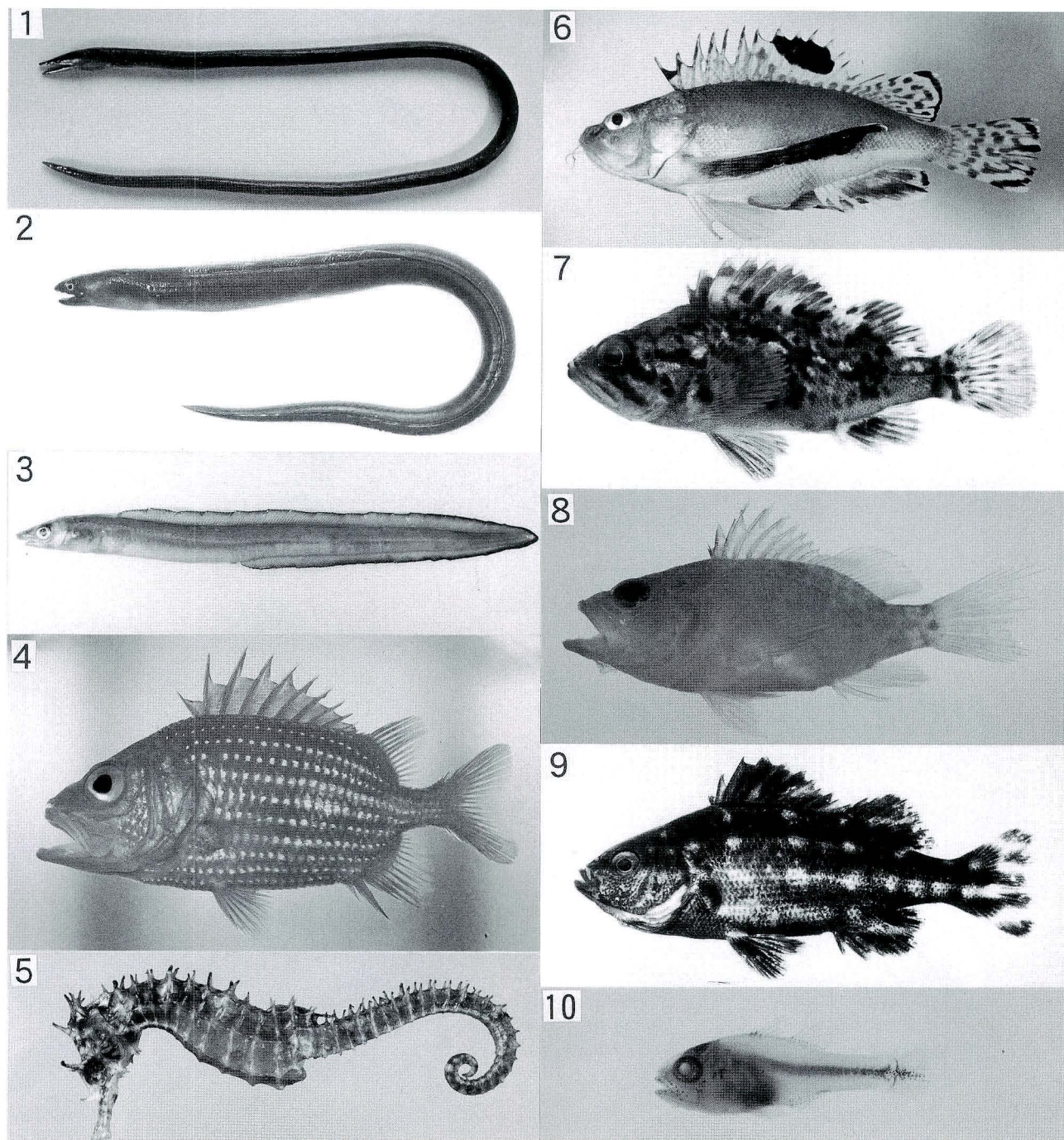


図2. 1 : ダイナンウミヘビ YCM-P35285, 2 : ニシキウミヘビ YCM-P35283, 3 : ギンアナゴ YCM-P35293, 4 : ヤセエビス YCM-P31833, 5 : イバラタツ KPM-NI0007344, 6 : ハチ YCM-P35291, 7 : クロソイ YCM-P31836, 8 : ニシキハナダイ YCM-P31837, 9 : ヒメコトヒキ YCM-P35300, 10 : コミナトテンジクダイ YCM-P31852.

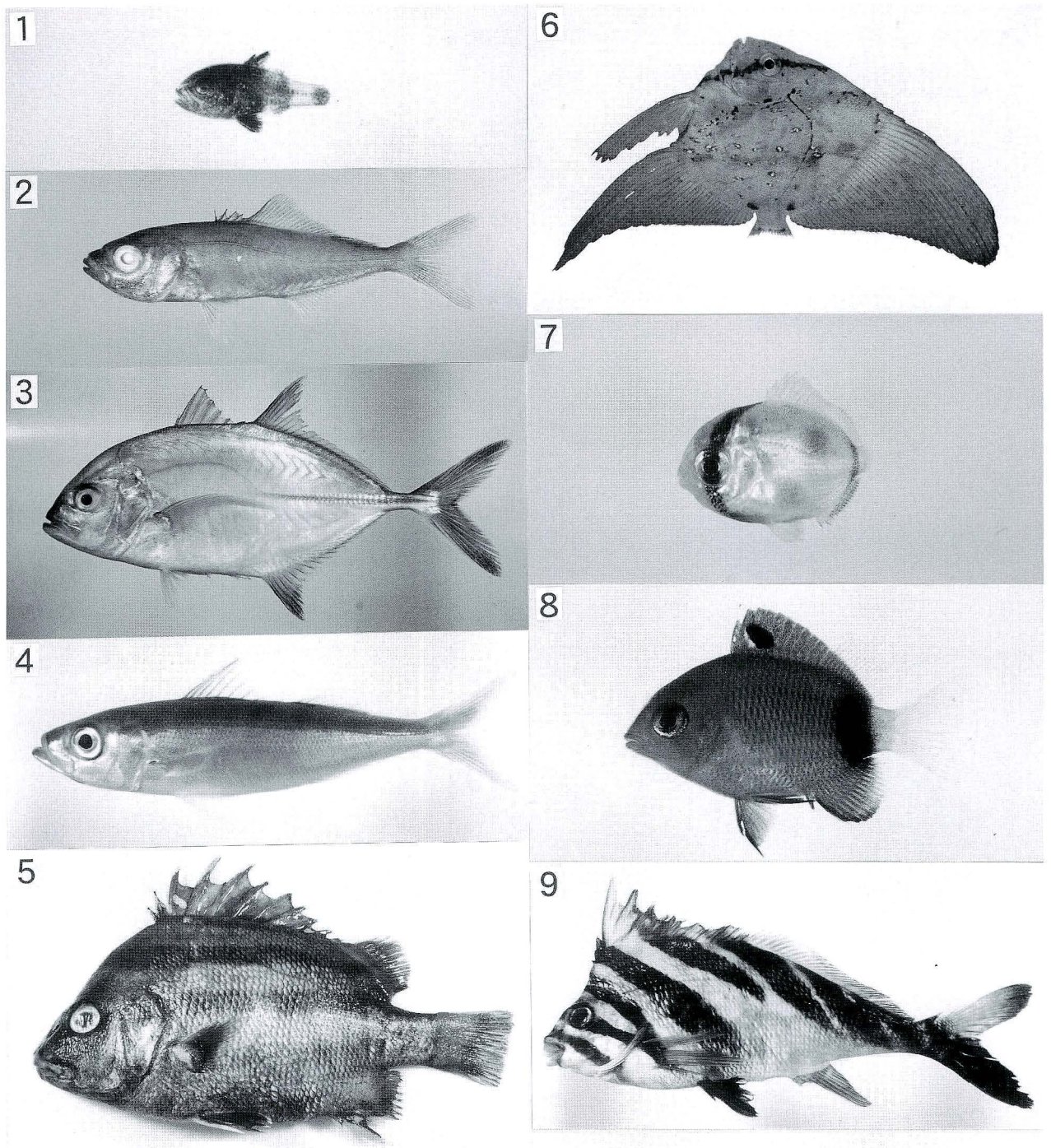


図3. 1 : ヨコスジイシモチ YCM-P31856, 2 : ツムブリ YCM-P31841, 3 : カスミアジ YCM-P31860, 4 : ハチビキ YCM-P31861, 5 : シマセトダイ YCM-P31825, 6 : ナンヨウツバメウオ YCM-P31838, 7 : ウミツキチョウチョウウオ YCM-P31862, 8 : イシガキスズメダイ YCM-P31843, 9 : ミギマキ YCM-P31853.

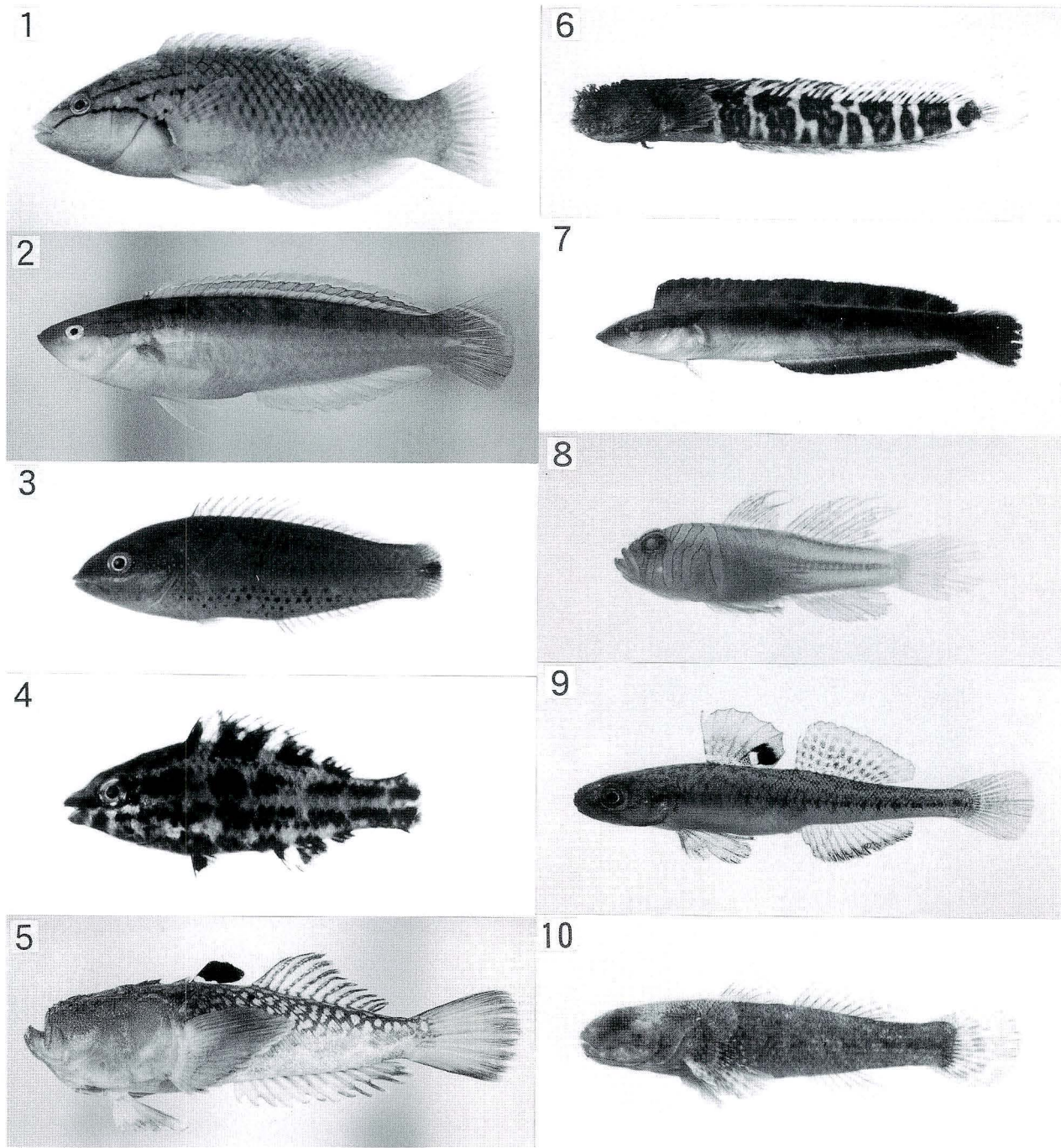


図4. 1 : アカササノハベラ YCM-P31849, 2 : イトベラ YCM-P31835, 3 : オニベラ YCM-P31845, 4 : ニシキブダイ YCM-P31846, 5 : キビレミシマ YCM-P35290, 6 : イワアナコケギンボ YCM-P31855, 7 : ニセクロスジギンボ YCM-P31844, 8 : フトスジイレズミハゼ YCM-P31851, 9 : ニクハゼ YCM-P31848, 10 : クロヤハズハゼ YCM-P31847.

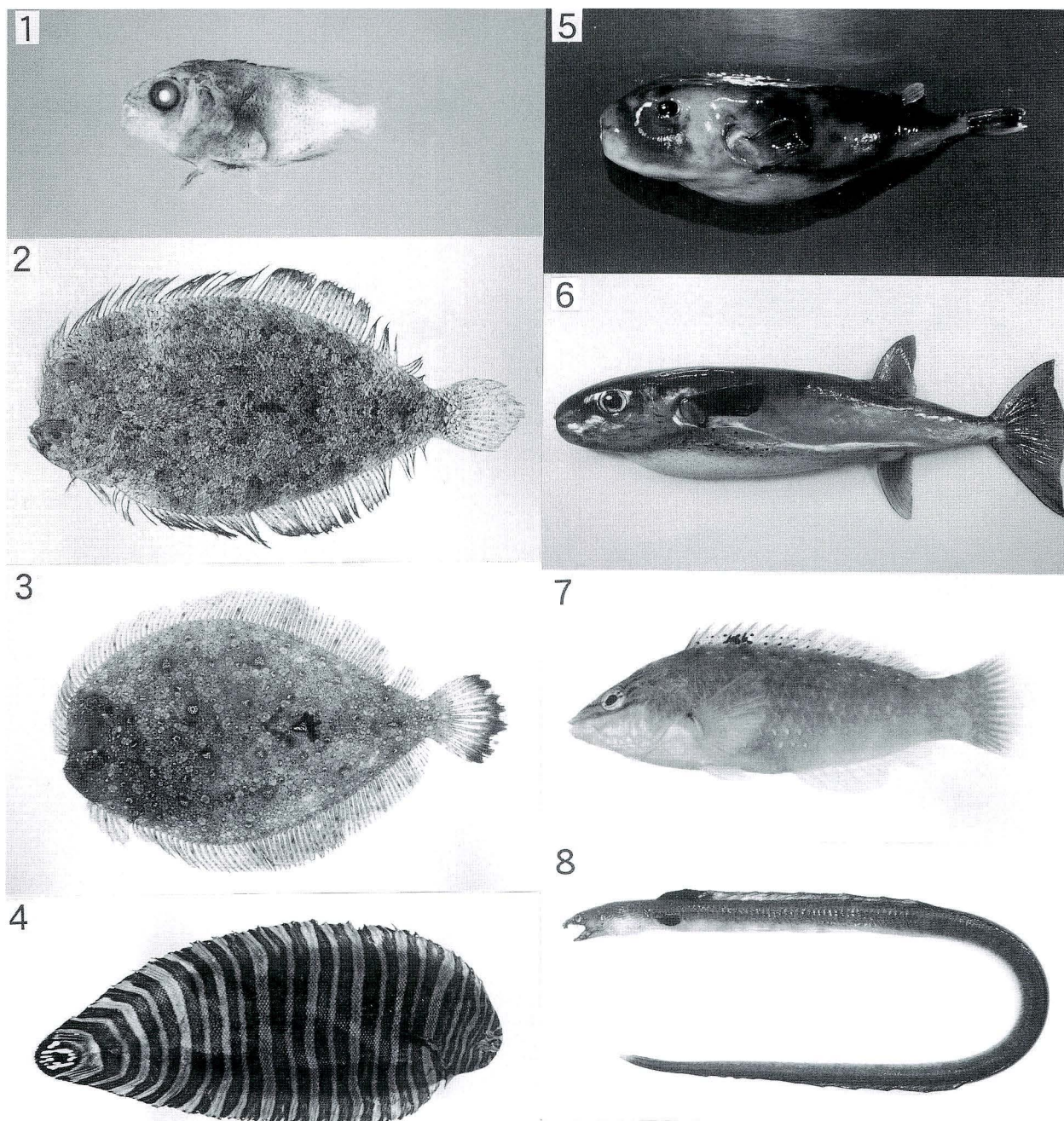


図5. 1 : イボダイ YCM-P31842, 2 : コウベダルマガレイ YCM-P35297, 3 : ホシダルマガレイ YCM-P31854, 4 : シマウシノシタ YCM-P35294, 5 : ヨリトフグ YCM-P31818, 6 : クマサカフグ YCM-P31817, 7 : ホシササノハベラ YCM-P31863, 8 : ホタテウミヘビ YCM-P35260.